

2025(令和7)年度 事業報告



社会福祉法人 善興会



報告内容



各事業所の、2025年度実績と主な取り組みについて報告

高齢者福祉 部門

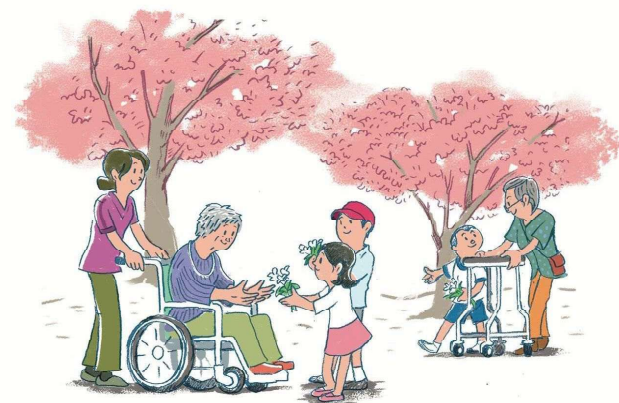
- 1 特別養護老人ホーム 花の王善興園 / 第三善興園
- 2 善興園デイサービスセンター
- 3 ホームサポート ごく・らく

障がい福祉 部門

- 4 障害者支援施設 北郷荘 / グループホーム 杉の湯荘
- 5 相談サポートセンター 北郷の里

01

高齡者福祉 部門 報告



1 花の王善興園／第三善興園

利用実績:花の王善興園では 定員割れへの対応が 大きな課題

花の王善興園(定員154)

第三善興園(定員120)

128.0人

2025年度 平均入所者数

109.0人

-6.2人

前年度比

-1.0人

-31.8人

定員比較

-11.0人

3.4人(定員6)

ショートステイ

15.8人(定員20)

人材確保と職場定着の推進

職員の中途採用の増加、外国人材の受け入れスタート



人材確保の実績

新規学卒者の採用は 0人 に留まる

中途採用者は **花の王8人・第三6人** を雇用

法人初の 外国人介護人材 としてインドネシアの特定技能1号を、**第三に2人採用**

インドネシアの介護学校出身者(**サウダラ**)へ

日本語と介護コミュニケーション勉強会を開催(毎週)、OJT、生活定着支援 実施

定着支援の取り組み

第三者相談窓口 **労務トラスト** の積極的な活用

入職後の **1カ月面談** によるきめ細かなフォロー

法人全体で初となる **ハラスメント調査** 実施

職場の **人間関係トラブル解消** とメンタルヘルス **推進**

職員研修とキャリアアップ支援

職員の**学びの機会**を増やし、**専門性とモチベーション**を向上

介護記録システムの活用

4月、計3人が参加
ケアカルテ本社がある静岡での
ユーザー交流会に参加、活用事
例や他法人、メディアと繋がる

大阪・関西万博 視察

6月、計7人が参加
オムツのファッションショー視察
ベッドメーカー本社での
ノーリフトなどの研修も実施

九州老人福祉大会

9月に計5人が参加
鹿児島で開催された研究大会
に出席、この機を生かし、大型デ
イサービスと特養も視察・

先進施設・企業研修

12月、計7人が参加
福岡市内での介護ICT施設体
験や、静岡のケアカルテ本社で
のu-supp-u(ウサップ)に参加

社会福祉士 受験支援

受験者増加に伴い、外部指導者
を招いての勉強会を実施、
職員のキャリアアップを後押し
した

認知症サポーター養成講座

前年度に続き、職員会議を活用
し認知症サポーター養成講座を
計4回実施、キャラバンメイトも
(指導者)誕生した

災害・感染症対策と安全管理体制

ノロウイルス発生の教訓とBCPに基づく訓練の徹底

手洗い・手指消毒・健康管理等のベーシックな **感染症対策を継続**

第三善興園での **ノロウイルスクラスター発生** により、初動対応の重要性を再認識

移動制限によるゲストの孤独感や **ADL低下**、**職員の疲弊**が大きな課題に

不測の事態に備えた **必要物品の確保** と、常に感染症を意識した動線の再確認

BCP(事業継続計画) に基づき、災害および感染症発生時を想定した**訓練を年4回実施**

健康管理(介護・看護・栄養の連携)

多職種連携による口腔衛生管理と誤嚥性肺炎の予防

歯科医師や歯科衛生士と密に連携し、包括的な **口腔衛生管理** を徹底

介護職・看護師・栄養士が一体となり、ゲストの **食事姿勢の見直し** を実施

むせ込み状況や水分摂取状況 のリアルタイムな確認と情報共有の強化

多職種のアプローチを組み合わせることで、施設内での **誤嚥性肺炎予防** に注力

法定研修として認知症ケア、不適切ケア防止、身体拘束適正化を確実に実施

ICT・DXの推進状況

見守り強化

音声入力システム「ハナスト」の導入による効率化



第三善興園:インフラと見守り強化

見守り機器(**aams**)やスマートフォン連携型ナースコールを活用。iPhoneでのナースコール受信や内線対応、リアルタイムの情報共有体制を構築

花の王善興園:ハナストを初めて導入

介護記録システム「ケアカルテ」とiPhone・ヘッドセットを連動させた音声入力システム「 **ハナスト** 」を導入。その場でのリアルタイム記録を可能に

導入効果:記録時間の削減と効率化

PCに向かう時間が大幅に減少。「ハナスト」の **インカム機能** により、職員が少ない夜勤時の見守り連絡や内線連絡が効率化され、ペーパーレス化も前進

2 善興園デイサービスセンター

魅力ある居場所づくりと新規利用者確保のための営業努力が急務



利用実績の推移と課題

登録者数 13人、1日平均利用者数5.0人
(定員30)。前年比-0.1人と低迷が続き、**利用したいと思える魅力的な環境作りが課題**

アクティビティ・行事の開発

季節行事や、広域(小倉北～東区等)を巡る
ドライブ行事を継続。ただし内容のマンネリ化を
打破し、外出先での「お買い物」などの実現必要

機能訓練の活用と職員研修

水曜日限定の**理学療法士による機能訓練**は
参加率高。職員は九州老人福祉大会や大型デイ
視察に参加し、**ケアの充実と知見共有**を図る

新規利用者の確保に向けた営業

体験からの移行はあるが、入院による離脱も
多く数として利用者が増えていない。
居宅介護支援事業所への積極的なアピールなど
営業努力を強化

3 ホームサポート ごく・らく（居宅介護支援事業所）



親しみのある名称変更で地域に密着、担当件数は**目標を大幅超過**

2026年3月、地域から親しまれる事業所目指し『**ホームサポートごく・らく**』へ改称、ロゴも製作

ケアプランの担当件数が **月平均182.5件** に。当初目標の155件を**大幅クリア**（前年比+22.7件）

ケアマネジャーの増員計画については採用活動が進まず、**今年度の増員なし**

チャットアプリ「**ケアコネ**」**導入** し、ご家族や地域のサービス事業所とのスムーズな情報共有を実現

支援経過記録での音声入力・写真記録の活用により、**業務効率化とペーパーレス化** が大きく前進

02

障がい福祉 部門 報告



4 障害者支援施設 北郷荘／グループホーム杉の湯荘

国の地域移行方針に合わせた定員減床
初の外国人材活用含む体制強化

利用実績の現状

▶ 北郷荘

7月、定員を 80人→ 70人に減床

平均入所者数は 53.4人（前年比-10.6人）、占床率74.2%

高齢化による入院増と、行動障害事例の対応難で新規入所が進まず

▶ 杉の湯荘

平均入居 19.4人（定員20）ほぼ満床を維持

人材確保と育成

2025年度は 新卒1人、中途6人 の職員を採用

施設活性化マネジャー（介護・看護部長兼務）配置

初の外国人材：インドネシア特定技能1号を3人を採用（サウダラと呼び職員全体指導・サポート）

宮崎県障がい者虐待防止・権利擁護研修4人修了

DX化スタート！ICT導入



全館Wi-Fi、介護記録システムケアカルテ・ハナスト導入への大転換

インフラ整備:全館Wi-Fi

県の障がい福祉ICT補助金を活用。これまで1階事務所付近のみだったネット環境を全館へ拡大
北郷荘・杉の湯荘の全館Wi-Fi化 達成

システム導入:ケアカルテ&ハナスト

経産省IT補助金を申請し、**ケアカルテ**と音声入力インカム **ハナスト** を同時に導入
ヘッドセットとiPhoneを活用する 近代的な障がい施設へ脱皮

法人内連携:DX推進メンバーによる指導

先行導入している第三善興園や花の王善興園から **DX推進メンバー3人招聘**
計2回の全職員研修を実施し、特養と障害の職員間交流にも寄与

5 相談サポートセンター 北郷の里

契約者数は増加するも**基本相談が増え**、負担の課題が浮き彫りに

2025年度の契約者数は **124人** に達し、前年度比で **8人増加**

一般就労や入院など、福祉サービスに直結しない **基本相談支援** の割合が増加

サービス等利用計画作成・モニタリング実施件数は **261件** と、**前年比-83件** の大幅減

相談支援専門員が**地域企業を地道に訪問**し、事業所の認知度は確実に向上

契約者のうち約25人が基本相談のみ。**収入を伴わないボランティア的支援** への対応が経営課題

2025年度 事業報告 付属明細



本日の報告内容1

北九州市・高齢者福祉 部門



- 1 花の王善興園 事業報告
- 2 第三善興園 事業報告
- 3 建物・備品および環境等の管理整備実績
- 4 善興園デイサービスセンター事業報告
- 5 ホームサポートごく・らく事業報告



花の王善興園

施設概要と職員体制

2026年3月31日現在の人員配置状況

施設概要スペック

所在地：北九州市八幡東区花尾町2-14

敷地面積：1688.7 m² / 延床面積：7293.3 m²

建物構造：鉄筋コンクリート造 7階建

入所定員：154人 (多床室 106人・従来型個室)

職員在籍状況（現員）

常勤職員：46名（定数 59名）

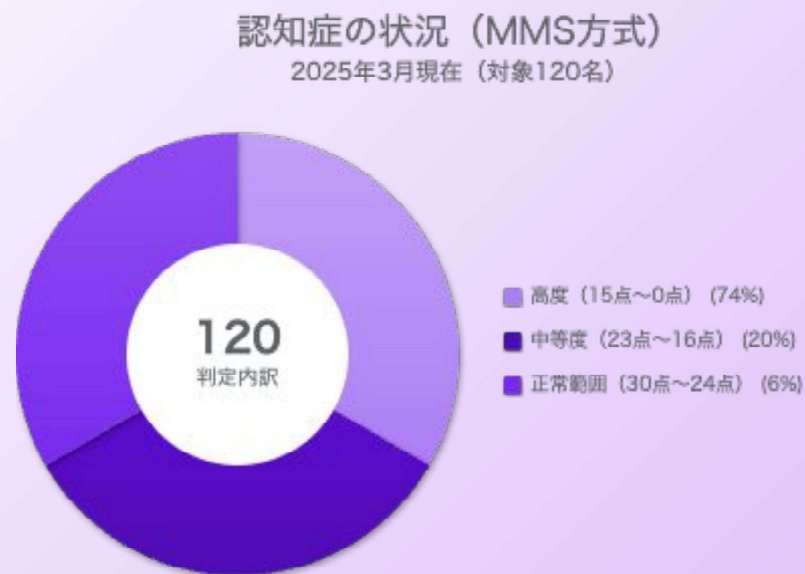
非常勤職員：53名

総職員数：99名（専兼別含む）

主な内訳：介護職員52名（常勤25・非常勤27）、看護職員9名

認知症の状況（MMS方式判定）

入所者の認知症深度の構成割合



出典：1_2025年度事業報告_花の王善園_付属明証書.pdf

高度認知症の入所者が全体の約 **74%**（89名）と大半を占める

中等度は16.1%（24名）、正常範囲は4.7%（7名）の構成比

専門的な認知症ケアおよび見守り体制の強化が不可欠な状況

特殊疾病およびリスクマネジメント状況

重度医療ニーズと学内事故発生等の集計

項目・疾病名	男性	女性	合計 / 対策の方向性
喀痰吸引（特殊疾病）	0名	10名	計 14名：看護職員による連携徹底
褥瘡（特殊疾病）	4名	5名	計 8名：褥瘡対策委による体位変換
転倒（事故等の状況）	9名	4名	計 13名：個別アセスメントの実施
滑落（事故等の状況）	6名	9名	計 15名：移乗時の環境見直し
うっ血等（事故等の状況）	12名	31名	計 43名：皮膚観察と衣類調整

短期入所生活介護 利用実績

要介護度別の年間延べ利用実績と平均稼働率

介護度区分	延利用実績（年間）	月平均利用	利用傾向と特徴
要支援1～2	4名	0.3名	予防給付の利用は極めて限定的
要介護1	95名	7.9名	在宅維持のための定期利用
要介護2	206名	17.2名	冬期（1月・2月）に利用が集中
要介護3	608名	50.7名	ショート全体の約49%を占める中心層
要介護4～5	327名	27.3名	重度者のレスパイト対応も一定数推移
総合計 / 稼働率	1,240名	103.3名	年間平均稼働率は57%となる

花の王善興園：整備・購入実績

厨房・医務室の機能維持と補助金を活用した介護DXの推進

インフラ修繕と設備更新

厨房排水管詰まり修繕、ガステーブル修理、および医務室への **全自動高圧蒸気滅菌機**（370,000円）の導入による衛生管理強化

電動ベッド22台の導入

補助金を有効活用し、安全センサー付きの **電動ベッド22台**（9,379,480円）を新調。入所者の安全性向上と介護負担を軽減

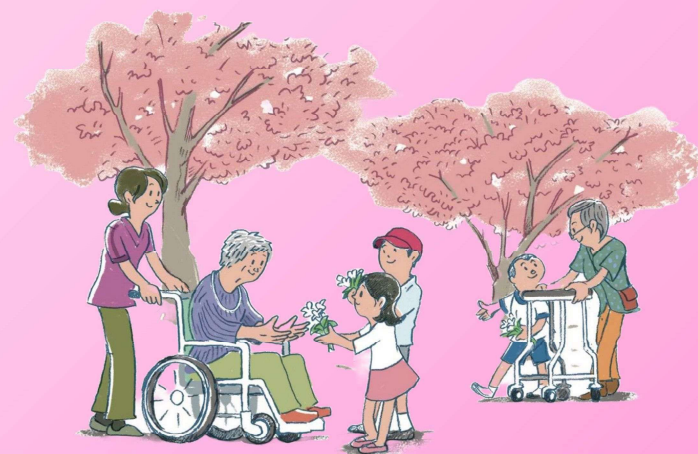
ケアカルテ・ハナスト構築

DX化の推進として **iPhone30台・ヘッドセット30台** を配備し、インカム音声入力システム一式（計約430万円）の運用を開始

第三善興園

施設概要と人員配置

2026年3月31日現在の人員配置状況



施設概要スペック

所在地：北九州市八幡西区大字小嶺721-1

敷地面積：13497.26 m² / 延床面積：6576.06 m²

建物構造：鉄筋コンクリート造 2階建(一部3階)

入所定員：120人 (多床室 70人・従来型個室 50人)

職員在籍状況（現員）

常勤職員：56名（定数 54名）

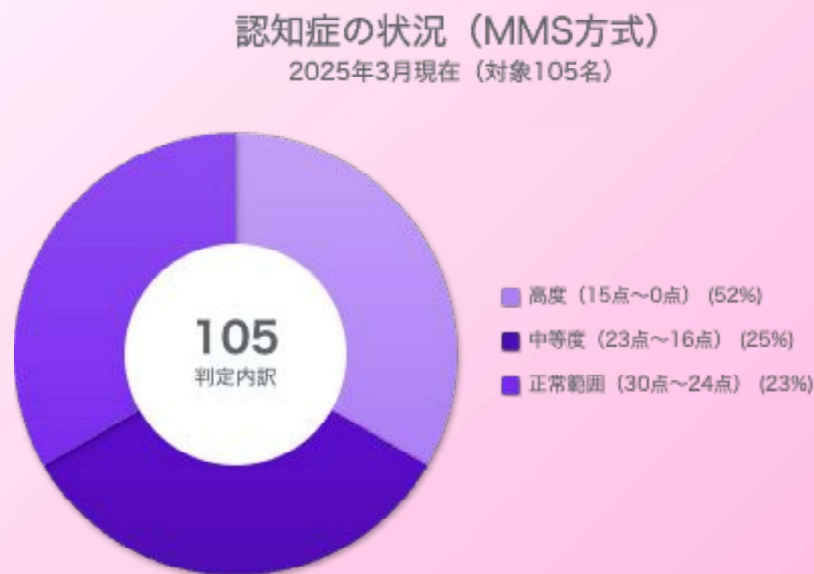
非常勤職員：52名

総職員数：108名（専兼別含む）

主な内訳：介護職員56名（常勤36・非常勤20）、看護職員10名

認知症の状況（MMS方式割合）

入所者の認知症深度の構成割合



出典：4_2025年度事業報告_第三善興園_付属明細書.pdf

高度認知症の入所者が全体の **53%** (55名) を占める

中等度は24% (26名)、正常範囲は23% (24名) の構成比

花の王善興園と比較すると正常・中等度の比率がやや高い傾向

リスクマネジメント・事故発生状況

安全管理に向けた各種事故件数の集計

事故項目区分	男性件数	女性件数	合計件数と対応方針
転倒	24件	31件	計 55件 ：見守り強化と動線の再点検
滑落	9件	17件	計 26件：移乗介助時の手順徹底
骨折	0件	5件	計 5件：骨粗鬆症リスクへの配慮
うっ血等	6件	8件	計 14件：肌着や寝具の適合確認
誤薬等	3件	6件	計 9件：配薬時ダブルチェックの厳格化

短期入所生活介護 運用状況

要介護度別延利用実績と高水準の稼働率

介護度区分	延利用実績（年間）	月平均利用	利用傾向分析
要支援1～2	10名	0.83名	軽度者の利用は年間を通じて少数
要介護1	1,196名	99.67名	在宅生活維持のための基盤的利用
要介護2	778名	64.83名	月を問わず安定したリピート利用
要介護3	2,390名	199.17名	ショート全体の約 41% を占める最大層
要介護4～5	1,396名	116.34名	重度レスパイトニーズへ柔軟に対応
総合計 / 稼働率	5,770名	480.83名	年間平均稼働率は 79% と高い水準

第三善興園：修繕・更新工事実績

大型インフラの計画的修繕と衛生・安全環境の維持向上

屋上防水部分改修工事

経年劣化に対応し、A棟屋上の防水部分改修工事を1期（5,280,000円）および2期（6,160,000円）に分けて計画的に実施

業務・生活環境の更新

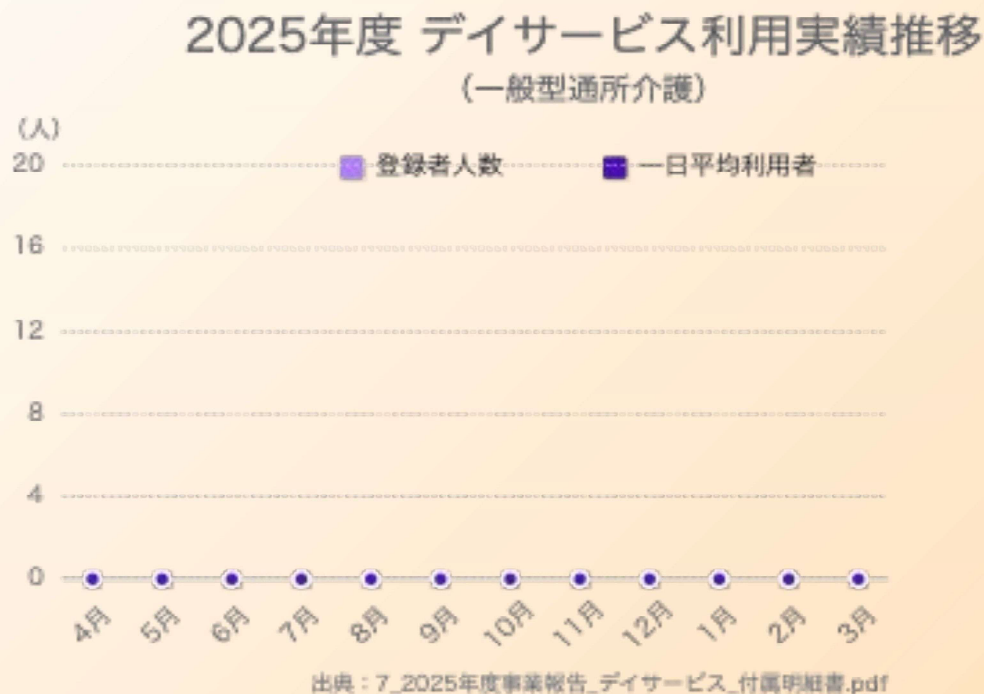
A棟ガス乾燥機更新工事（715,000円）および洗濯棟エアコン更新工事（825,000円）を完了し、日々の業務インフラを安定化

厨房・防災設備の改修

A西側消火栓ホース更新、厨房グレーチング更新、厨房換気扇更新など、安全面・衛生面の直近課題へ迅速に対応

善興園デイサービスセンター 利用実績推移

一般型デイサービスの登録者数と延べ利用者数の月次推移



年間登録者数は概ね **11～13人** の範囲で安定的に推移

介護延べ利用客数は年間累計で **1,573人** を記録

一日平均の利用人数は年間平均で **5.0人** (前年比-0.1人)

登録者の平均年齢は男性 **77.9歳**、女性 **89.6歳**、全体で **82.8歳**

善興園デイサービスセンター 介護度構成の推移

前年度末と今年度末における利用者の要介護度分布の対比

令和5年度（前年）		令和6年度（今年）
2人	要介護1	1人
3人	要介護2	6人
5人	要介護3	2人
2人	要介護4	3人
12人	合計人数	12人

ホームサポート ごく・らく

居宅サービス計画作成実績



2025年度におけるケアプラン作成件数と前年度実績との比較

予防給付（年間計）

491件

+56件

介護給付（年間計）

1,699件

+218件

総作成件数（年間計）

2,190件

+274件

多様化する居宅支援業務の実績

モニタリングをはじめとする各種相談・申請代行業務の年間件数

主な業務内容	年間対応件数	業務の重要性と役割
毎月のモニタリング	2,190件	利用者の状態変化を定期的に把握する基盤業務
申請業務（代行含む）	283件	新規および更新時の要介護認定手続きをサポート
訪問サービス相談	205件	在宅生活を維持するための環境調整と各種相談
通所サービス相談	173件	デイサービス等へのスムーズな繋ぎ込みと調整
サービス担当者会議	161件	多職種連携による最適なケアプランの合意形成

本日の報告内容2

宮崎・日南市 障がい福祉 部門

5 障害者支援施設 北郷荘 事業報告

6 グループホーム杉の湯荘 事業報告

7 相談サポートセンター北郷の里 事業報告



北郷荘

入所状況と疾病・リスク管理

利用者の疾患傾向の把握と安全な環境づくりのためのリスク分析

入所定員 **70名**（ショート5名含む）に対し、安定的な運営を維持

特殊な疾病状況として、**脳血管障害** が17名、**脳性麻痺** が5名など、脳由来の障害を抱える方が多数在籍

リスクマネジメントでは年間で **転倒28件**、**切創・剥離20件** のインシデントが発生

女性利用者の転倒（20件）および切創（16件）が男性に比べて高く、個別対策を強化中

誤嚥・誤薬等への厳格な対策により、重篤な事故の発生はゼロに抑制

北郷荘の 専門性と安全性を高める職員研修

2025年度に実施した施設外・施設内研修による人材育成実績

開催月	研修区分	研修名・内容	参加者数
5月他	施設外	サービス管理責任者研修（法令改正・個別計画）	計4名
9月	施設外	全国社会福祉法人経営者大会（法人間連携・地域共生）	1名
12月	施設外	障がい者虐待防止・権利擁護研修（従事者コース）	2名
1月	施設内	障害者虐待防止・身体拘束廃止研修（施設全体）	58名
12月	施設内	看護師による個人防護具の正しい着脱指導およびBCP研修	41名
2～3月	施設内	ケアカルテ・ハナスト導入前機器取扱説明・指導	延べ102名

施設設備およびICT環境の整備実績

2025年度に実施した大規模な設備投資と公的補助金の活用成果

対象施設	購入設備・ICT機器等	投資金額	補助金等の活用内容
北郷荘	新型ベッド（10台、 2025年5月購入）	3,520,000円	快適性と介護負担軽減の ための更新
北郷荘	ICT導入機器 （PC・iPhone16e・無線 AP23台）	2,602,052円	宮崎県ICT補助金 750,000円活用
北郷荘	介護記録システム「ケア カルテ」導入	2,684,000円	IT補助金 1,499,999円活 用

ICT導入による業務環境整備

補助金を活用したデジタル機器の刷新



2025年12月に **1,445,400円** を投じてICT機器の取替工事を実施

内訳として **iPad 11インチ4台**、**iPhone 16e 3台**、無線AP機器を購入

費用には **県ICT補助金 750,000円** が適用されている

Wi-Fi6対応7台・Wi-Fi5対応3台の無線APを配備し通信環境を強化

建物・備品等の管理整備実績

快適な生活環境の維持に向けた改修・更新工事

ガス給湯器取替工事

2025年12月実施。号数能力変更に伴う右機種取替を1台実施。費用355,300円

居室エアコン取付

2025年7月、杉の湯すまいる寮の居室へエアコンを5台新規取付。費用1,052,700円

畳・襖の張替え

2025年7月に居室の環境改善として実施。費用631,400円

みんなの部屋整備

2025年8月、1階みんなの部屋および通路の整備工事を完了。費用1,606,000円

杉の湯荘

施設概要・職員体制

グループホーム杉の湯荘の基本情報と人員配置

所在地は **宮崎県日南市北郷町**、入所定員は **20名** の規模で運営

敷地面積は **12,433.05m²**、建物構造は **鉄筋コンクリート造2階建**

職員状況は常勤換算で **7.4名** の定数に対し、常勤現員 **8名** ・非常勤 **8名** を配置

主な疾病は **知的障害** が **8名** と最多、次いで **管障害** が4名となっている

杉の湯荘のリスクマネジメント

2025年度における事故等発生状況件数

滑落事故

8 件

最多項目

転倒事故

4 件

要警戒

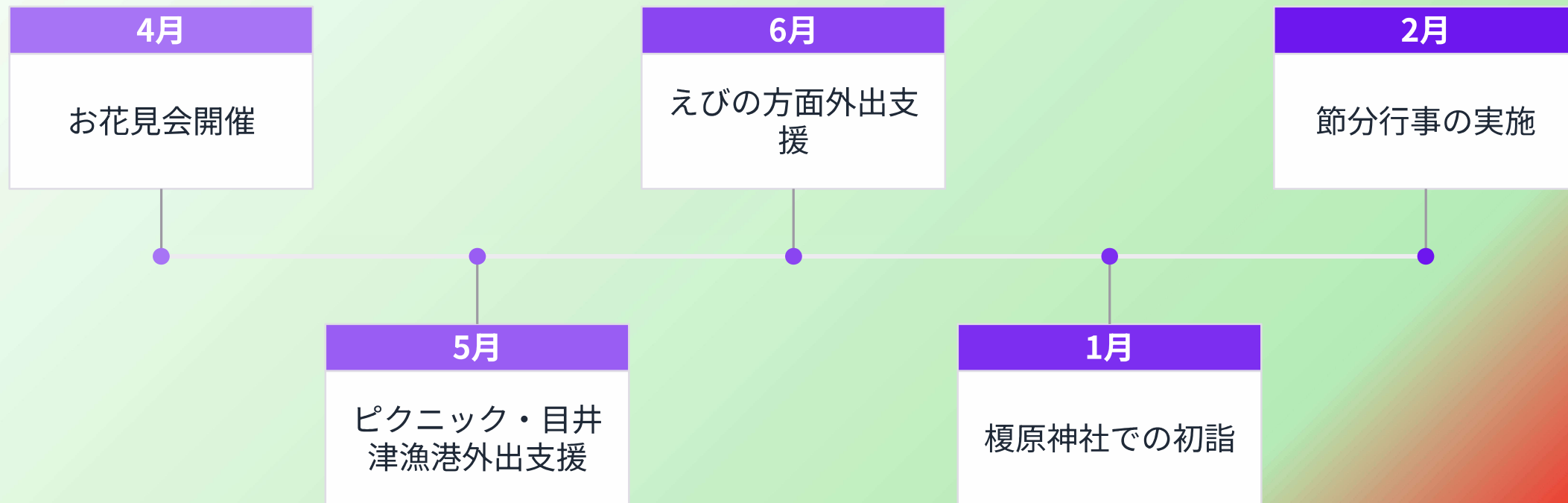
危険行為・器物破損

3 件

個別対応

2025年度 年間活動実績

季節に応じた外出支援とイベントの実施



相談サポートセンター 北郷の里

事業概要と利用者属性

相談支援業務の対象者内訳と年齢構成

相談支援専門員 **1名体制**（後藤裕介）で業務を掌理

利用者の年齢層は **65歳以上** が **51名** で最多、次いで51～64歳が26名

全体利用者数は **124名** にのぼり、高齢の障害者支援に高いニーズがある

障害支援区分では **区分6** が **19名**、**区分4** が13名、区分5が12名となっている

計画作成およびモニタリング件数推移

2025年度における各種計画書等の月別作成実績

業務種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
サービス等利用計画	5	3	4	7	4	4	4	5	5	2	6	6	55
モニタリング報告書	14	14	20	12	24	20	16	12	14	18	23	19	206

相談支援業務件数の内訳

年間合計586件に及ぶ多様な連携・訪問実績

居宅訪問業務

年間 **333件**（月平均約27.8件）を実施し、最も高頻度で対面支援を行っている

サービス担当者会議

年間 **130件** の会議を開催。3月には最多となる18件の会議に臨んだ

医療・機関連携業務

医療連携44件、会議参加37件、退院連携16件、新規相談13件を記録

入所施設 ADL・介護度構成

入所施設におけるADL（移動手段） 人員

各施設における利用者の日常移動能力の現況

施設名	自立	杖歩行	手引き	歩行器	車椅子	リクライニング	合計
花の王善興園	3	0	4	9	58	54	128
第三善興園	18	8	3	9	47	20	105
北郷荘	8	0	2	32	8	3	53
杉の湯	9	3	2	0	6	0	20

要介護度構成比の状況

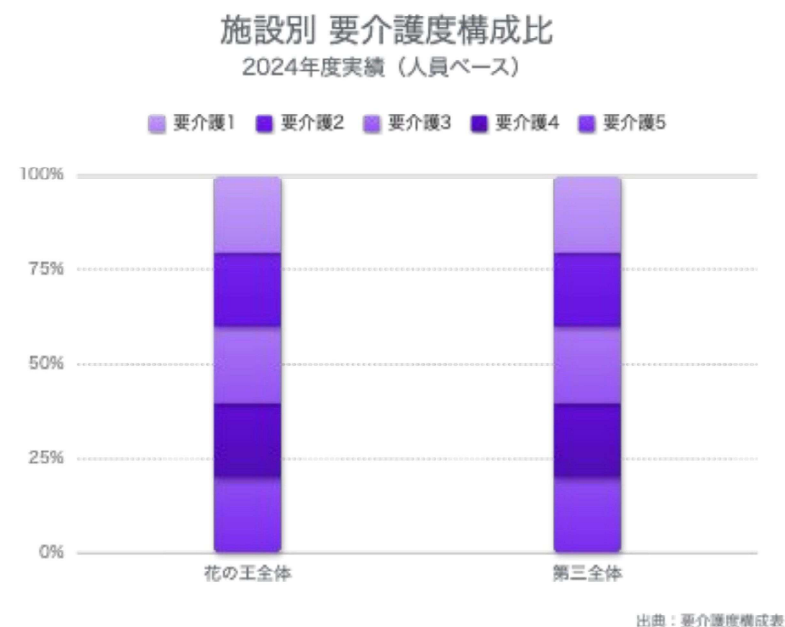
花の王善興園と第三善興園の要介護度分布

花の王善興園の平均介護度は **3.9** と高く、重度化傾向が見られる

花の王は **要介護5** が **45名**、**要介護3** が36名と、全体の多くを占める

第三善興園の平均介護度は **3.2** であり、中間層の割合が比較的高い

第三善興園では **要介護3** が **40名** と、最多のボリューム層となっている



主食・副食の提供形態

自動化された食事形態の多様性

花の王善興園は**粥食**が**44名**、**ミキサー食**が30名と調理加工の需要大

第三善興園は**米飯**が**71名**と最も多く、経管栄養者は0名となっている

杉の湯は20名全員が**米飯**かつ**普通副食** (17名) であり通常食が中心

北郷荘は米飯21名・粥22名と二分され、経管栄養も2名対応している

入所3施設の占床率実績

2025年度 月別占床率の推移

3施設の月次稼働トレンド

花の王善興園 は期初に83.9%でスタートし、夏期に一時86.7%まで上昇したものの、期末にかけて急減し3月には **76.4%** まで低下

第三善興園 は夏から秋にかけて **95.1%** と高い水準を維持し、通期を通じて安定した高稼働を継続

北郷荘 は定員変更に伴い7月から70%台後半へ上昇し、以降は **74%から77%台** の安定した推移を維持

施設別 平均占床率の過去比較

過去2年間の実績値との対比

2024年度 平均占床率		2025年度 平均占床率
92.8%	花の王善興園	83.2%
92.6%	第三善興園	91.2%
82.2%	北郷荘	74.2%

水道光熱費の実績と前年度対比

2025年度 拠点別 水道光熱費合計

年間支出総額と前年度対比の状況

花の王善興園

22,787,602
円

-814,392円

第三善興園

31,651,602
円

+359,777円

北郷荘

28,116,659
円

-579,282円

善興園デイ

1,648,740円

-33,581円

杉の湯

6,898,612円

+582,727円

主要施設における項目別コスト詳細

2025年度の支出料金と使用量（前年比）

施設名	水道（円/m ³ ）	電気（円/kwh）	燃料・ガス（円）	料金合計（円）
花の王善興園	5,231,088 (8,363m ³)	12,832,730 (使用量省略)	4,723,784 (34,323m ³)	22,787,602 (前年比-814,392)
第三善興園	8,726,515 (13,604m ³)	19,524,468 (812,401kwh)	3,400,619 (重油灯油ガス計)	31,651,602 (前年比+359,777)
北郷荘	3,435,559 (12,480m ³)	11,534,555 (501,235kwh)	13,146,545 (重油ガス等計)	28,116,659 (前年比-579,282)

**2025年度 事業報告 付属明細の説明は
これで終わります**



社会福祉法人 善興会

